

乗鞍岳

Mt. 乗鞍スキー場 ▶ 位ヶ原 ▶ 乗鞍岳(剣ヶ峰) ▶ Mt. 乗鞍スキー場

1泊2日 / 適期 年末年始〜5月上旬

技術 体力ポイント
ルートはほとんどがなだらかでも、稜線は風が強く雪面も硬い。下山は長いので、しっかりと歩ける体力が必要。

小屋泊まりで手軽に登れる3000m峰入門コース

年末年始と2月上旬から位ヶ原山荘が営業するおかげで、3000m峰のなかでもとくに登りやすい乗鞍岳。夏は豊平まで車道が通っている観光地のイメージだが、雪に閉ざされる冬季は自然の厳しさを味わえる。天候がひとたび崩れば、冬の高峰の厳しさに変わりはないので、油断せずに雪山登山を楽しもう。



標高3026m、鳥居の立つ山頂

【コースガイド】
第1日 Mt. 乗鞍スキー場がオープンしていればリフトを利用して一気に標高を稼ぐことができる。強風などでリフトが動かないときはゲレンデを歩いて登る。通常はリフトを3本乗り継ぎ、いちばん上のかもしかりフト終点からスキーのツアークコースを登っていく。ツアークコースはスキー用に樹林が広く切り開かれているので、天候が悪いときでも迷うことはない。

ツアークコースには間隔をあけて番号札がついており、6番の札から曲がれば、ほどなく位ヶ原山荘への分岐に着く。分岐には看板を立ててあるので見落とすことはないだろう。分岐から目印の赤布をたどって右手の樹林に入り、車道に出たら、それをたどって位ヶ

原山荘に向かう。途中左手の沢筋から雪崩が出ることもあるので注意して通行しよう。位ヶ原山荘は車道側の入口は閉じており、裏手から入る。テント泊の場合はこの付近で張るか、先ほどのツアークコース終点の分岐付近でもよいだろう。山荘にはコタツやだるまストーブもあり、快適に過ごせることこの上ない。

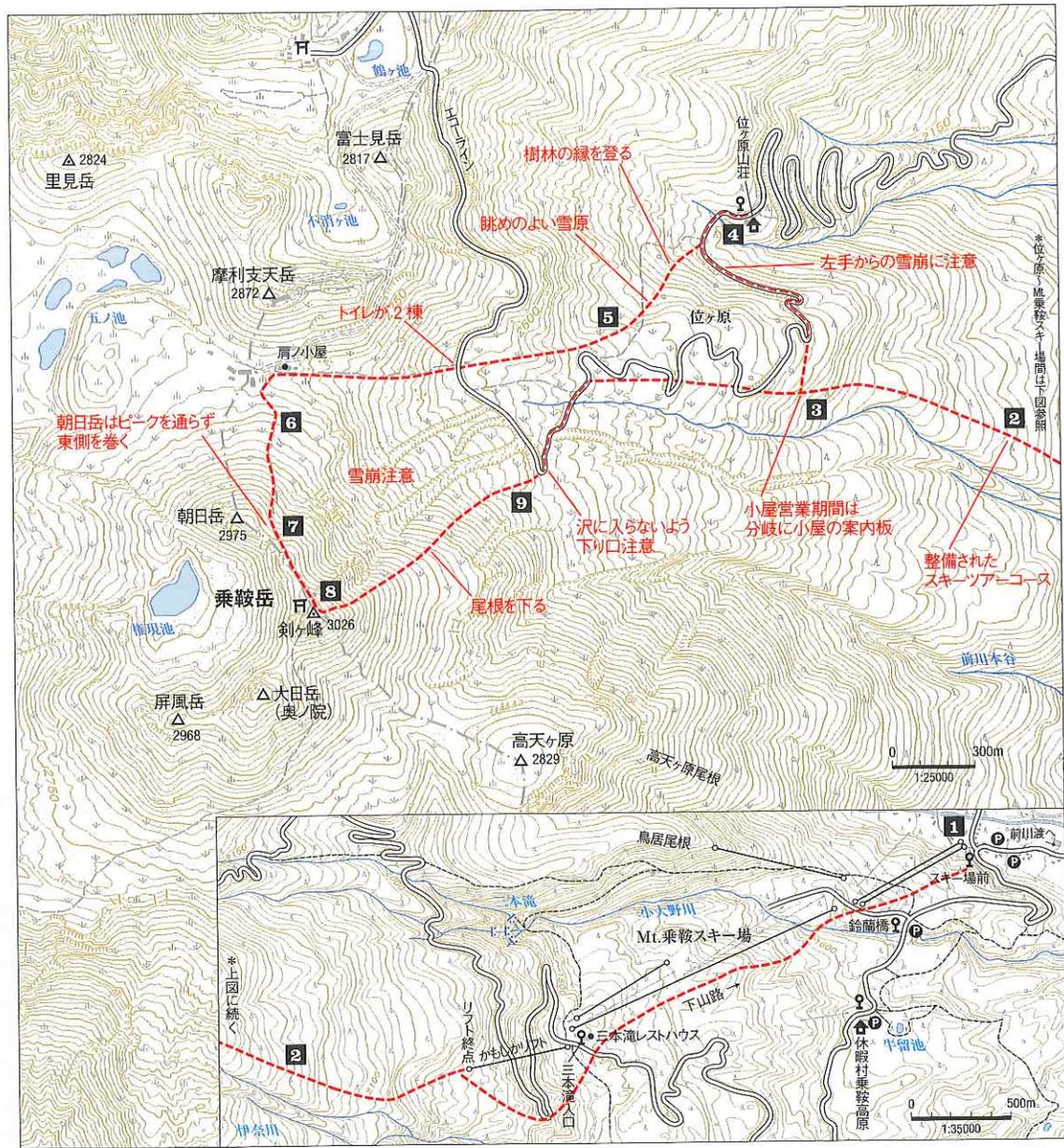
第2日 位ヶ原山荘を出発し、車道を少し戻る。夏道と同じところから雪の斜面を登っていくが、やや沢状になっているので念のため左手の樹林に沿って登っていくのがよいだろう。雪がやや多くトレースがないと疲れるところだが、長くは続かない。ひと登りで一段上の雪原に出て、乗鞍岳の峰々が姿を見せる。振り返ると樹林の中に位ヶ原山荘が



稜線一帯は北アルプスの展望台となっており、眺めは秀逸



位ヶ原山荘からやや沢状の斜面を樹林に沿って登っていく



コースデータ

参考タイム 【第1日】リフト終点(1時間15分) ツアーコース終点分岐(45分) 位ヶ原山荘……計2時間
 【第2日】位ヶ原山荘(2時間40分) 肩小屋(1時間) 剣ヶ峰(1時間10分) ツアーコース終点分岐(45分) リフト終点(1時間) スキー場前バス停……計6時間35分
 装備 雪山一般装備、ワカンまたはスノーシュー、テント泊は幕営用具エスケープルートなし。天候急変時などは途中から引き返す。
 山小屋 位ヶ原山荘(12月下旬~1月上旬と、2月上旬以降営業)
 問合せ先 乗鞍高原観光案内所 ☎0263-93-2147、位ヶ原山荘 ☎090-9001-7362

2万5000分の地形図 乗鞍岳、梓湖
 アドバイス 肩小屋までスノーシューが便利。なだらかで平たい地形が多いので、視界不良時は無理な行動は慎むか、確実なルートファインディング技術が必要。乗鞍岳上部は雪崩の危険があり、2010年2月下旬に富士見沢で死亡事故が起こっている。スキーヤーが多いので、斜面上部からの誘発雪崩にも注意したい。
 なお春のGW期間には除雪が進んで、春山バスが位ヶ原まで運行される。観光センター前で春山バスに乗り換え、約37分で位ヶ原山荘前まで上がれば、日帰りで乗鞍岳の残雪期登山が楽しめる。

アクセス

行き・帰り

JR中央本線松本駅
 ↑ 電車約30分
 ・松本電鉄
 ☎0263-26-7311

新島々駅
 ↑ バス約48分
 ・アルピコ交通
 新島々営業所
 ☎0263-92-2511

スキー場前

春GWから

JR中央本線松本駅
 ↑ 電車約30分
 ・松本電鉄
 ☎0263-26-7311

新島々駅
 ↑ バス約1時間25分
 ・アルピコ交通
 新島々営業所
 ☎0263-92-2511

位ヶ原山荘前

マイカー情報 長野道松本ICからMt.乗鞍スキー場へ約41km、約1時間20分。スキー場の無料駐車場あり。春のGW以降は三本滝レストハウスの駐車場まで車を入れる。

見え、その上には槍・穂高連峰がよく見える。ここから右手の急斜面の尾根を一気に登り、早めに車道に出てしまってもよいが、左手のなだらかな斜面を緩やかに登って進んでいく。登っていくと肩ノ小屋口の冬季閉鎖中トイレが雪原に確認できるので、そこを指して進む。

雪原右の斜面には見事な雪の風紋、シユカブラが見られ、強風時の厳しさがよくわかる。だだっ広い雪原を、朝日岳と摩利支天岳との鞍部の肩ノ小屋を目指して登っていく。このあたりまではなだらかな斜面なので、スノーシューが歩きやすいだろう。肩ノ小屋からは雪が硬くなるので、鞍部に着いたら風が避けられるところでアイゼンを装着する。

肩ノ小屋から剣ヶ峰間は稜線上ではなく東側を歩いていく。朝日岳はピークを通らずに直下を巻いて、朝日岳と剣ヶ峰のコルで稜線に出る。雪質が硬いので、風が強いときはとくに注意しよう。岩がゴロゴロした山頂直下を登り、

神社のある山頂に到着する。3026mの山頂では大展望が広がる。北アルプスはもちろんのこと、中央・南アルプス、御嶽山や白山の展望もすばらしい。

下山は山頂から東にのびる尾根を左にカーブするように進み、広い雪原を目指して下る。しっかりとアイゼンをきかせて下っていきこう。下った雪原付近は視界が悪いと迷いやすい。雪原からは夏の車道沿いにルートを取り、カーブミラーを目安にショートカットしてツアーコース終点の分岐に出る。ここからは往路と同じくツアーコースを歩き、グレンデトツップまで下る。

残念ながら、スキー場リフトは下りの利用ができない。仕方ないので、長いグレンデの隅を歩いて下っていきこう。登りでスキーを利用した場合は、山頂付近からバス停まで一気に滑走することができる。時間に余裕があれば、山麓の温泉に入って汗を流そう。道なりに10分下れば湯けむり館がある。

ポイントガイド



位ヶ原分岐 分岐に立つ看板を右に折れる。下山時はこの上から下りてくる



スキーツアーコース 樹林がきれいに切り開かれているので、迷うことはない



Mt.乗鞍スキー場 3本のリフトを利用して一気に標高を上げる



肩ノ小屋からの登り 肩ノ小屋付近でアイゼンを装着し、稜線へと登っていく



森林限界 沢状の斜面を登ると雪原に出る。肩まではスノーシューが歩きやすい



位ヶ原山荘 年末年始と、2月から営業しているのが心強い。初日はここに泊まる



剣ヶ峰東斜面 スリッパに注意して斜面を下る。ルートを見失わないように



剣ヶ峰山頂 最後にゴロゴロした岩場を登り山頂へ。360度の大展望だ



朝日岳のトラバース 朝日岳はピークを通らずに直下を巻いて剣ヶ峰とのコルへ